

Ⅶ.「仕事に係る風通しの良さ」のアイデア

アイデア1

学校長とフリートーキング（吉野川高校のアイデア）

- 目 的 風通しの良い職場環境や組織づくりをめざし、教職員の士気を高める。
- 日 時 適宜（事前に案内は必要）
- 内 容

普段話す機会が少ない学校長と教職員が数名で話をする機会を設け、フリートーキングをする。

職員会議等でなかなか意見を言うことができない教職員の考えや意見をくみ上げることができ、今後の学校運営に生かすことができる。学校長が知らない情報や課題等を把握することもできる。

また、教職員が学校長の考えを聞くこともでき、コミュニケーションの場となる。



アイデア2

しっとく、なっとく、班ミーティング（人権教育課のアイデア）

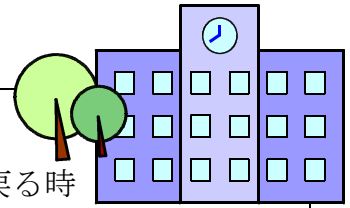
- 目 的 担当制の実施に伴い、リーダー、サブリーダーが中心となり、班内のコミュニケーションを図りながら、チームとして業務を遂行する。
- 日 時 適宜（事前に連絡は必要）
- 内 容

所属内の班単位で定期的にミーティングを行い業務の進捗状況を確認したり、問題点等があれば相談し合ったりして、連携、協力して業務を遂行する。

定期的にミーティングを行うことにより、互いの業務内容についての理解が図られ、問題を感じたときに、一人で抱え込むことなく班で協力して解決することができる。また、班員同士のコミュニケーションを図ることができ、風通しの良い職場環境づくりにつながる。

アイデア3

遠回り大作戦！（中央高校のアイデア）



- 目的 学校全体に視野を広げ、情報収集のため
- 日時 授業やホームルームを終え、教室から職員室に戻る時
- 内容

職員室に戻る時に、わざと遠回りした経路で歩いてみると

- ①他の学級の様子分かる、②他の先生と廊下で会い会話が增える、
- ③汚れや廊下のゴミに気づく、④自分の学級の生徒がうろうろしていることに気づく等、良いことがいっぱい！

アイデア4

リフレッシュ&スクラム職員室クリーン大作戦！ （海陽中学校、中央高校のアイデア）



- 目的 職員室の整理整頓
- 日時 月に1回
- 内容

全教職員で職員室の大掃除をする。使用されていない物、廃棄してよい物等を片付け、職員室内の整理整頓、書類が山積みになっているデスクをすっきりさせることで、物理的に風通しを良くするだけでなく、交流も図る。

職員室内の美化に全員で取り組むことで、気分が一新され、親睦も深まり、教職員間の連帯感も生まれる。

アイデア5

みんなで改善（加茂谷中学校の実践）

～スキ(好き)な学校、テ(手)を加えて、ステキ(素敵)な学校にするために～

- 目的 学校運営の中に各々の考えを反映させつつ、協働の意識を育てる
- 日時 学校行事が終わる毎
- 内容 行事振り返りシートによる改善活動

少人数の学校では、職員会等で、かえって思っていることが口に出せないことがある。そこで、行事が終わるごとに、教職員全員にアンケートをとり、行事の評価と改善点を記入してもらい、各々の意見は教頭が集約し、次の職員会等で披露している。

風通しの良い職場環境とは、自由な意見の交換ができるだけでなく、所属する者すべてに有用感を持たせうる職場でなければならない。そのためには、職員間に協働の意識を育てなければならない。

実際の行事改善に関しては、いくつかの行事（資源回収・宿泊学習）において、職員の思いを汲み取ることができ、次の開催に反映できそうである。

アイデア6

つながるチーム〇〇中大作戦（協町中学校の実践）
～ホワイトボードミーティングで話し合おう～

- 目的 各々の持つ情報を積上げ、課題を見出し、解決のための役割分担を効率よく行うため
- 日時 校内研修・職員会議時
- 内容



校内研修・職員会議で*ホワイトボード・ミーティングを取り入れ、可視化・可聴化した情報交換を行う。

※ちよんせいこ氏（株式会社 ひとまち）が提案した会議の進め方。ホワイトボードに情報を書き出し、「発散」「収束」「活用」の順序で話し合いを進める方法。

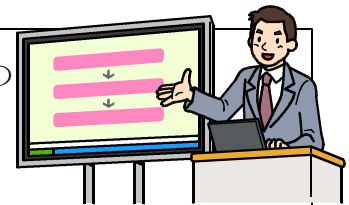
（効果）

- ・情報を可視化・可聴化することにより、情報交換が漏れなく重なりなく効率よくできた。
- ・その場にいない職員も、ホワイトボードを見るだけで、情報が一目瞭然に把握できた。
- ・書き込まれたホワイトボードから、課題が明確になり、今後の取組や役割分担まで詳細に確認することができた。

アイデア7

何でも相談！みんなで対応！「風通し委員会」
（徳島科学技術高校のアイデア）

- 目的 学校運営や教育活動のあり方等に関する教職員の意見が活かされる仕組みをつくる。
- 日時 適宜
- 内容



- ・管理職，学年主任，課長等を委員とする「風通し委員会」を設置する。
- ・「風通し委員」は，教職員からの相談を受けたり，教職員に声かけを行う。
- ・「風通し委員」には何でも相談できるという，職場の雰囲気醸成する。
- ・「風通し委員」は，相談内容に応じて，教職員が適切なアドバイス等が得られるように対処する。
- ・学校運営や教育活動のあり方等に関する相談については，月1回程度開催する「風通し委員会」で話し合い，改善策を検討する。

（期待される効果）

- ・教職員が相談しやすい「風通し委員」に悩みや意見を相談できる職場の雰囲気が醸成される。
- ・「風通し委員会」により，教職員からの意見や提案を検討し，学校運営や教育活動に役立てることで，現状に対して，改善志向をもって意見を述べ合い，研鑽し合う教職員組織がつくられる。

アイデア8

はぐくみ会（新野小学校の実践）

○目 的 教職員の児童共通理解

○日 時 毎月第3月曜日 放課後

○内 容

本来は、児童理解の話合いの間ではあるが、茶話会もかねている。

事例と向き合うことは時として厳しいものであるが、この会の時にはいつも季節のお菓子や飲み物を準備して話し合っている。そうすることで、会話が弾み心も癒されているように感じる。

一緒に悩みを分かち合える仲間がいるということ、またおいしい食べ物があるということで肯定的な意見が多い。

準備するときも、季節にあったものや珍しいもの、また各地域のものなどさまざまあるが、選ぶのも楽しいし職員も毎回楽しみにしている。



アイデア9

ぽくぽく親睦昼食会（東祖谷中学校の実践）

○目 的 教職員だけでなく、生徒も含めてコミュニケーションを図り、風通しの良い学校づくりを目指している。

○日 時 毎月「食育の日」に実施

○内 容

全教職員・全生徒で教室を離れ一緒に給食を食べて会話を楽しんでいる。

会話の中からアイディアを引き出せたり、協働意識が生まれたりしていると感じる。みんなで学校をつくる心の絆をつくるという所属感が生まれます。